

とうきょう すくわくプログラム 報告書

実施日 令和 6 年 8 月 9 日 (金)

テーマ 「感触」 年齢 0歳 クラス もも 組

活動 活動スケジュール

活動	実施日	活動内容	時間	人数/回
寒天に触れる	8月9日	①寒天に触れる	9:30~9:50	9名/1回目

問いを考える

寒天って なあに？	黄色、青色の寒天ゼリーは光を受けきれいに光っている。「これなあに？」という気持ちから自分で触ろうとする。子どもが触れてみることでその冷たさや手触りを楽しむことができるようにする。手や足など思う存分触ったり、握ったり、スプーンでかき混ぜたりする中で子どもなりに感触を楽しんだ。			
--------------	---	--	--	--

環境をデザインする

場所：保育室	保育室の床の上にシートを敷き、その上に新聞紙を置く。 寒天ゼリーはタッパーに入れて冷やしておく。 他、かき混ぜて遊べるようにスプーンやへらを用意する。			
--------	---	--	--	--

探究活動を実践する 振り返りをふまえた気づき

<p>◎活動内容</p> <p>・興味をもって側に寄る子ども、自分からは手を出そうとしない子どもがいた中で、少しずつそっと開けたタッパーに手を置き触り始める。次第にたたく・指で突く・掌に載せる・握る・つまむ・かけらを保育者に手渡す等が見られ、指先から掌、両手へと遊びの広がりが見られた。次に、砕く・つぶす(指から掌へ)・握って器に入れる、出す・スプーンで突く、かき混ぜる・スプーンですくう・器から器へ移す・持ち歩く等、次第に大胆な遊びへ展開していく。ここから、足にゼリーが付きついたことに気づいて払おうとする動きやおどろいて冷たさに気づく仕草・さらに大胆に自分の足に置いて踏む・踏みつぶす等手だけで触れていたものが足から全身への遊びに変化していく。そうした中で、冷たい・気持ちいい(心地いい)・ぴちゃぴちゃ音がする</p> <p>・おいしそうと笑顔と共に快の感情を発する表情や仕草が見られ、口に運ぼうとしていた。これらの様子から感覚としての遊びへ変化していったものと考えられる。</p>	<p>◎始めはタッパーに入った状態で子どもに見せたところ興味をもって近づいて触っていました。◎蓋を開けるとゼリーに触っていましたが冷たい感触に不思議そうに触れている子がいました。◎何度か触って感触が嫌だったのかそれ以降触らない子もいました。◎安心した子はどんどん大胆に触り始めました。手にもっていただけだったのが掌で握りつぶしたりタッパーに手を入れて掴んで器の外に出したりしていました。◎手だけでなく足に載せたりスプーンでかき混ぜたりして遊んでいました。ゼリーで遊ぶことが楽しくなっているのがわかりました。◎口に運んでいる子もいました。◎冷たい感触が心地よかったのかずっと手に触れている子がいました。触った感触や冷たさなどを感じて遊びが広がっていきました。◎新聞紙は透明なゼリーの下で文字が透けていたので無地の紙を次回は使うといいの</p>
---	--

ではという意見がありました。今後小麦粉など違う感触も楽しみたいと思
います。